

2022～2023 年度

おおず

1月号



大洲 LC 令和 5 年度 家族新年例会

2022-2023

1月号

No.442



国際会長テーマ&メッセージ ブライアン E・シーハン
【 We Serve(我々は奉仕する) 】
【 Together We Can 】

336-A 地区ガバナーズローガン 市村通夫
【 感謝を込めて ウィサーブ 】
キーワード【 不易流行 】

クラブ会長スローガン 矢野啓文
【 Version Up Activity バージョンアップ アクティビティ 】

新年あけましておめでとうございませす。
皆さまと新しい年のスタートを迎えられたこと心より感謝いたします。

今年はお正月から天候が良く初日の出をしっかりと望むことができた声も聞けました。

その穏やかさと反して、「新型コロナウイルスの感染拡大」「ウクライナ、ロシアの情勢」は世界経済だけでなく私たちの身近な社会生活におお影響を及ぼしています。

3年前に新型コロナウイルスが報じられた2019年12月初旬には、このような状況になるとは想像していなかったと思います。

暗いことばかりに触れてもいけません。今年はお兔の年です。

野原を跳ね駆け巡る兔のように飛躍し、大きな長い耳でしっかりと情報を拾い人の言葉にしっかりと耳を傾ける謙虚な姿勢で過ごしたいと考えています。

おかげ様で当クラブは昨年、1500回という記念例会を迎えることができました。

そしてクラブ立上げのチャーターメンバーである榎田與一ライオンとともに記念すべき瞬間を迎えられ本当に喜ばしいことでありました。

63年という年月の中で様々な事柄があったと思います。今後さらに活動の充実をはかり、これまでの築いた歴史に恥じることをないように過ごしたいと思います。

そして記念事業として、フードロス削減に繋がる事業として大洲市の施設や、貧困や家庭事情により十分な食事の機会があたえられない子ども達を支援する子ども食堂開催者への食品提供をすることができました。

今後は地域の開催者の皆さまとともども食堂の開催に協力していきたいと考えています。

矢野年度も残り半年となりました。

皆さまのご協力の元、充実した活動を行っていききたいと思ひます。

本年もよろしくお願ひいたします。

会長 矢野 啓文

【大洲ロータリークラブ 2023.1.11】

恒例の余興が行われました。家族、お子さんなども出席されているにもかかわらず、皆さん密になりマスクもなく歓談されていました。

少し不思議な感じ。

【一般社団法人大洲青年会議所 2023.1.12】

JCらしく規律を守り、緊張感のある理事長交代の式典からの新年会でした。イントロ当てゲームも思いのほか盛り上がりしました。

【大洲商工会議所青年部 2023.1.19】

少し飲みすぎて、あまり憶えていません。



～ 2023年度新年会を終えて ～

レクレーション委員長 古森敏夫

私がライオンズクラブに入会したのは1991年なので、今年で29回新年会に出ていることとなります。当時は子供もまだ小さく家族5名で参加していました。クラブ会員自体60名くらいいたので、子供の数も50人とは言わないくらい参加していたのではないのでしょうか。当然アトラクションは子供たちをいかに喜ばすか、という内容で大賑わいでした。

さて今年は、クラブメンバーの参加は事務局も入れて、21名、来賓が6名、同伴者が8名、合計35名という寂しい新年会になりました。アトラクションの内容も富くじだけになり、担当者として正直中途半端感が残るものになってしまったことをお詫びしたいと思います。

2020年に始まったコロナ騒動も、インフルエンザと同等の「第5類」への移行が現実になることで「ウィズ コロナ」の日常を取り戻せるのではないのでしょうか。

来年の新年会がコロナ後の新しいスタートになるようなものにしていただきますよう担当の皆さんには頑張ってくださいと思います。



△ 担当委員長 祝宴あいさつ

富くじ賞品、あれこれ考えました、喜んでもらえたかなあ



△ 会長あいさつ

新年会開会出来て嬉しいな～♪ 笑みがこぼれます！



△ コロナ禍のせい？年々参加者数が減ってきています(;▽:)

『 2023 年度 家族新年例会 』



△ 池本幹事 司会進行お疲れさまでした



△ 二宮市長様の丁寧なおあいさつ
毎年ありがとうございます



△ ロータリークラブ 井上会長様
ご祝辞ありがとうございました



△ 新年早々、ご夫婦で大当たり！
今年はきっと良いことがありますね ♪



△ 毎年ご参加下さる奥様方、おかげ様で会が華やかになります、今年もご参加ありがとうございました！



2023 年度 モナーク表彰者

★20 年モナーク 沖村 忠 会員
(2002 年入会)

★10 年モナーク 亀田雅史 会員
中野吉貴 会員
(2012 年 入会)

【沖村 忠 会員 20 年モナーク】

2002年日韓ワールドカップの年に入会しました。最初に頂いたお仕事が「会報誌の作成」でした。それまでは、年に2回の発行・印刷会社に発注を、自分たちが編集作成・印刷、毎月発行。大変だと思いましたが、欲張らず、全4ページ、表紙と広告ページを除くと実質2ページの作成、写真を多用して何とか毎月の発行にこぎつけたものでした。この実績により、中越大震災の臨時号の発行・45周年記念誌の発行とライオンズメンバー参加の広報誌・記念誌作りが出来るようになりました。

2005年からは菅野会長の下で幹事の大役をうけ大変忙しく、沢山の会に出席し、リジョン内の沢山の方と出会い視野が広がったように思います。

2006年はYE地区委員になり、長浜ライオンズクラブの日高Lの下、鳥取大山・高知のYEキャンプをはじめ、地区・リジョンを飛び回り、たいへん忙しい年となりました。

2011年3月11日東日本大震災の発生、2012年会長職を受けた私はガバナー方針の中で「東日本大震災復興の為に奉仕活動」が取り上げられました。中越地震もボランティアに行った大洲ライオンズクラブです。今回も何かしなければ！と考えはしましたが、原発災害の為、直ぐには行動できず2013年福島へみかんを届けることができました。

その他にも、毎年開催している530運動・おまつり村・椿の道清掃・献血運動・年次大会、今は在りませんが、Jr トライアスロン、2年に1回の高島Lとの交流と、沢山のアクトのおかげで沢山の出会いがあり、楽しいライオンズ活動ができています。あと20年頑張ります。やっと半分これからが楽しみです。

【 亀田雅史 会員 10 年モナーク 】

10 年モナークで名前を呼ばれて驚きました。

入会してもう10年経っていたんですね！

昨年、私は70歳になりましたから、入会時は60歳。

60歳の節目で、少しは社会のお役に立つこともやらねばと思って入会しました。

あまり役に立っていないかとも思いますが、これからもボケ防止のためも含めて活動に励みたいと思います。それと、話は違いますが昨年の新年会で当たったイルミネーションはきれいに光っています！

【 中野吉貴 会員 10年モナーク】

10年ひと昔と言いますが、本当に早いものですね。

濱田しの息子さんの結婚式でライオンズクラブの入会を勧められ、酔った勢いで「入会します！」と言ったのが昨日のようです。

気づけば50歳を超えました。この10年で少しは社会奉仕もできましたかね。

これからもライオンズクラブの活動に微力ながら尽力できていければと思う、今日この頃です。

『ブカレスト日本人学校滞在記・・・らしきもの』 東山 宏

富永という方から、「どっしりとも書け」という依頼(命令?)がありましたので、遠い記憶をたどりながらルーマニアの「ブカレスト日本人学校」について書かせてもらいます。よく勘違いされるのが、お隣の国ハンガリーの首都ブダペストです。くれぐれもお間違いないく。

私が勤務したのは、1991年(平成3年)4月から1994年3月までの3年間です。もつ帰国してから29年が経とうとしています。家族4人(妻、息子2人)で渡航しました。結論から言いますと、日本人的な考え方をする民族は非常に少なく、地球規模で言うと日本人は極めてスペシャルな民族だということです。それでも、日本人の考え方は人間として素晴らしいし、大変暮らしやすい国だと思います。

1989年12月にルーマニア革命があり、チャウシエスク大統領とエレナ夫人が銃殺刑になりました。その1年数か月後に赴任しました。政治的にも経済的にも混乱しており、大きな変革期だったと思います。ブカレストの緯度は日本という、旭川と同じくらいです。必ずマイナス20度を下回る日が何日かありました。湿度が低いので、衣服に降りかかる雪の結晶がはつきり見えて、びっくりました。冬はガス不足で、バスタブにつかれない日が1か月程度ありました。夏は40度近くになりますが、湿度が低くて陰になると涼しいので、エアコンはありませんでした。人間は不思議なもので、こんな生活に慣れるのは、そんなに時間はかかりませんでした。不便さはありませんが、かえって、現地での生活を十分に楽しめたのではないかと思います。



ブカレスト市内の市場



プラハ(カレル橋)

お金があつても物が無く、手に入らない物はデパートの通信販売会社から購入していました。様々な物があつたのですが、キリンビールも注文することができ、大変助かりました(笑)。米(タイ米)は大使館が注文をまとめて購入してくれました。2年目には韓国の商店が日本米に近い米を扱いだしたので、それを購入するようになりました。野菜の温室栽培などはしないので、季節の物しか市場には出ません。冬場はジャガイモと玉ねぎ、ほうれん草、半分凍ったキャベツくらいしかないのでキュウリやカボチャ、キノコなどを夏場に冷凍保存していました。1年目は秋口にジャガイモを30キロほど買ったこともあります。ただ物価は非常に安いので、スイカなどは結構大きなものでも1個200円から300円くらいでした。一家4人でレストランに行つて、私がワイン一本、家族がそれぞれ料理を食べても、1200円くらいだったと思います。3年目になる頃には3000円近くになっていましたが、それでも高くはありません。

ブカレストは当時の文部省から「不健康地(生活困難地)」に指定されていた(現在も同じです)ので、春の連休や冬休み等は、「買い出し目的の旅行」ができました。赴任してすぐの連休には、早速ウィーンへ行きました。空路で一時間半くらいしかかからないので、一番近い西側の国でした。日本食屋があるので、かまぼことかいろいろな日本食を買って、クーラーボックスに詰め込んで帰りました。



日本人学校とスクールバス



ベネチア

最後にバナナを一房、迷いながら買ったのを覚えています。当時のブカレストではバナナやオレンジは市場に年に数回しか出ないので、子供のおやつ(スライスして冷凍)として買いました。買い出しとはいいながら、観光もしました。ヨーロッパの街を家族と歩いている自分のことを半分信じられないような感覚があつたのをよく覚えています。

学校は、民家を借りていたので本当に「ごんまりとしたものでした。小中学生が通学し、合わせて20名を少し超える程度でした。商社マン、大使館員、そして日本人学校の職員の子供たちです。登下校は、全員スクールバスでした。現在は現地の子供もOKになっているようです。

以前には日本人が400人ほどいたこともありますが、当時は100人前後しかいませんでした。硬式テニス大会や運動会、クリスマス会、バーベキュー大会などもありました。結構仲良くしてもらいました。

日本人学校は、週に英会話が2時間とルーマニア語会話が1時間あるくらいで、あとは日本国内でやっていることと基本的に同じです。修学旅行(国内)や学芸会、運動会(日本人全員)もありました。校長を含めて6名前後の教職員だったので、何事も小学部と中学部が協力して一緒にやっていました。

3年間で出会った教員の出身地は、北海道、福島、新潟、埼玉、千葉、神奈川、岐阜、滋賀、岡山、愛媛でした。それぞれの特色があつて貴重な経験になりました。いまだにお付き合ひのある方がほとんどです。夏休みに入ると、ちよつと長めの家族旅行ができました。1年目は、ドイツとオランダ(レンタカーで、2年目は、不健康地ということと一時帰国(パリ、ロンドン経由)し、日本食を段ボール15箱ほど送りました。3年目はオーストリア、ドイツ、スイス、ハンガリーとルーマニア国内を回りました。春休みと冬休みにも買い出し名目でウィーンやローマ、自家用車でブルガリア(ソフィア)とギリシア(アテネ)、イスタンブール、そして、プラハ、エジプトなどに行きました。2年目からは、ルーマニア国内の事情が良くなったので、クーラーボックスは必要がなくなりました。そして、日本食を探すことも少なくなりました。

旅行に行くくと、何か必ずと言っていいほど、トラブルがありました。一番に困ったのは、トルコの国境で、車検証が同僚のもの(同じ車種)と入れ替わっていたので、通れないと言われたことでした。責任者の「JMS」に行き、談判をしたのですが、埒が明かず、これからブルガリアを通して帰るのかと思つてショックでした。諦めて担当者「下、下」しまへいかなかったと伝えたら、「い、い、いから通れたと言われ、胸をなでおろしました。さすがに「トルコ」は親日だなあ」と改めて感じました。



七夕まつり



スキー教室



運動会

先輩教員に、日本人学校3年間の経験は国内の100年分にはなると言われたのですが、そのとおりだと思います。100年は一見に如かずそのものです。日本人との違いが肌で感じられたのは本当に貴重な経験でした。少しは視野が広がったのではないかと自負しています。ただし、それを学校教育に十分生かされたのかどうかは分かりません。

まだまだたくさんネットがあるのですが、紙面が尽きそうなので、「この辺で筆を置きます。ありがとうございました。」

(旅行の話のウエイトが高くて申し訳ありません)

My Guinness

★私の愛機★ Jazz Guitar 編

Gibson L-5 CES

ジャズギターの王道、ギブソンL-5です。

私の楽器は多分1990年頃のモデルです。30年以上前に製造されたギターですが、L-5は大変に歴史の長い楽器なので、その中ではそれ程古い方ではありません。いろいろ楽器を買ってきましたが、この楽器を初めて弾いた時に「木が鳴っていると初めて感じる事が出来ました。」リッチな低音、あくまで冴太い高音部の音色と、良くも悪くも典型的な「ギブソンサウンド」で、1950-60年代のジャズCDで聴かれる代表的なジャズ・ギターの音と言えるでしょう。



Gibson 175 TD

アンプを通したサウンドも素晴らしいですが、生音の方もアコースティックギターとしての魅力を充分備えています。生鳴りの方は、音量を抑えた仕様となっていますが、そのサウンドは軽やかで透明感のある美しいサウンドです。実はその素晴らしい生音を収録した名盤がございます。ソロギターの名手としても知られるジャズギタリスト”ジョー・パス”氏の作品「ヴァーチュオーソ」。こちらの作品で素晴らしい演奏と共にサウンドを聞くことができます。アンプ使用時と生音の両方で楽しめる素晴らしいギターです。



Ibanez GB-100

ポップなリズムにブルージーなアドリブで一世を風靡した「ジョージ・ベンソン」がイバニーズとコラボをして制作したジョージ・ベンソンモデルの中で、記念して作られた限定品の「GB100」です。この楽器は高級仕様とも言えるモデルで、フレイムメイプル製のボディにアヴァロンをあしらった豪華なインレイ、15インチ弱の小ぶりなボディに「フローティング ピックアップ」をあしらったオリジナルティ溢れるジャズ・ギターです。



会員のつづやき

(掲示板より)



『珍事件です！、からのプレバト一句』

2023/1/17

古森と大浜に釣りに来ましたが、本日は超絶不漁でした。
ただ珍事が！！

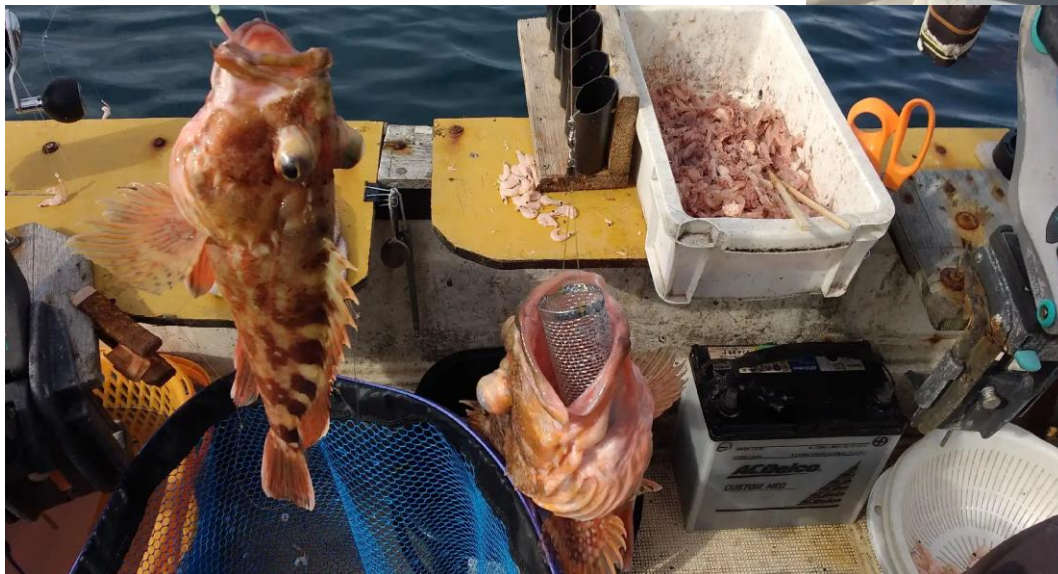
古森が大きなホゴをダブルで釣り上げ

その内の1匹はジャミカゴに食いついてました。

サメにはなんども
ジャミカゴを取られていま
すが、ホゴを釣ったのは
初めてです。

初釣り的一句

『 初釣りや
かごでカサゴを
あらビックリ 』



魚の口に

ご注目👀

『新居浜あかがね

マラソン大会』

2022/12/15

新居浜のあかがねハーフ
マラソンに参加しまし
た。高低差 400 メートル
あり、なかなかタフなコ
ースでしたがなんとか完
走できました。



大会ゲストの
山の神 柏原さんと

昨年 11 月 3 日のおまつり村で市民から集まった古メガネを、アイアイエー大洲店弓達会員がひとつひとつ処理をして、リサイクル活動本部に送って下さいました！
弓達会員、ありがとうございました！！



再使用可能なメガネ(85 本)を消毒・除菌・ネジのゆるみなどを補正して袋詰め。
メガネのアイアイエー本部(松山市)に届けます。
ご協力ありがとうございました。

アイアイエー大洲店 弓達 るり子



△ こんな状態で集まったメガネが、なんと！
きれいに個別包装されています→



有限会社 古森石油店
古森 敏夫

大洲市徳森336-1
電話 (0893)25-2111

スナック 百音

足澤 智恵子

大洲市中村 228-7 TEL24-7031

沢井耳鼻咽喉科医院

院長 沢井 尚

大洲市中村432-2
電話 24-2510



支店長 佐々木雅司

大洲市中村553番地3
TEL::24-3151・FAX:24-3152

【 例会ドネーション 】

11月第2例会

11/25	矢野	高島交流事業、献血運動ご協力ありがとうございました
	池本	高島交流事業、村上委員長、中野副委員長、富永相談役、運転手沖村、亀岡さんお疲れ様でした
	濱田	白内障の手術をしました 無事成功しました
	兵藤	11/20 献血運動すっかり忘れていました、申し訳ありません
	沖村	おさががせしています、21日から今日までPCR検査すべて陰性でした
	松岡	寒くなりました、あと5日で本当の85歳です
	亀岡	11/23 雨天になり 11/27に神南山登山が行われます、参加お願いします
	古森	ウクライナ基金に
	久保	市民ゴルフとライオンズ同好会コンペ、ダブルで優勝

12月第1例会

12/9	村上	高島交流事業無事終了することができました 富永さん、中野さんご苦勞掛けました
	富永	高島交流例会無事に終わりました、決算も終了、ただしコロナ陽性おまけ付きで
	今井	高島への旅、皆様にはお世話になりました
	沖村	12月になりました
	矢野	ウクライナ基金に復興支援基金にドネーションします
	古森	ウクライナ復興基金へ

【 ドリンクドネーション 】

【 寺尾Lより ドネーションとして

ウクライナ復興・支援基金箱 作製 】

11月第2例会

ありがとうございました。

11月25日	宮下
	久保
	沖村
	樽井

